

# 拡張 DM エディタ バージョン 6.0.51 更新記録

2011/05/25  
有限会社ジオ・コーチ・システムズ  
<http://www.geocoach.co.jp/>  
[info@geocoach.co.jp](mailto:info@geocoach.co.jp)

## 1. 要素リストアップ

メニュー[ツール]-[要素リストアップ]にオプション「異なる Z 値がある(水平でない)面・線」「リストアップ(高い方から)」を追加しました。

データタイプ

E1面  E2線  E3円  E4円弧  
 E5点  E6方向  E7注記  E8属性

分類コード

すべての分類コード  
 分類コードを選択(1)   
 分類コードを選択(2)   
 分類コードを選択(3)   
 砂防基盤地図の3次元取得項目

2次元、3次元

2次元と3次元すべて  
 3次元  
 3次元で標高値が全て0.0  
 3次元で標高値が-999より高い  
 3次元で標高値が-999より高く0.0より低い  
 3次元で標高値が-999より高く、全て同じ  
 3次元で標高値が-999より高く、一部異なる  
 3次元で標高値が-999以下  
 2次元  
 3次元の標高値

図形区分

すべての図形区分  
 非区分(0)  
 射影部の上端(11)  
 射影部の下端(12)  
 表現補助データ(99)  
 表現補助データ(99)以外  
 0,11,12,99以外  
 定義以外  
 指定

間断区分

すべての間断区分  
 間断区分=0  
 間断区分=1  
 間断区分=2~9

面(E1),線(E2)の点数

点数は問わない  
 2点  
 3点以上

面(E1),線(E2)の長さ・面積

長さは問わない  
 長さを指定(2D)  
 長さを指定(3D)  
長さの最小値   
長さの最大値   
 面積は問わない  
 面積を指定(2D)  
面積

その他の条件

注記の数値の小数点以下桁数が1  
 取得年月  
 以上  以下  
 消去年月が空白か0以外  
 要素識別番号=   
 異なるZ値がある(水平ではない)面・線

処理

リストアップ(順次)  
 リストアップ(長い方から)  
 リストアップ(高い方から) ←  
 該当要素を削除する  
 分類コードを変更する   
 注記の線号を変更する   
 間断区分を0にする  
 間断区分を1にする  
 図形区分を変更する   
 面(E1)を線(E2)にする  
 点(E5)を方向(E6)にする  
 方向(E6)を点(E5)にする  
 円(E3)を点(E5)にする  
 点列の順序を反転する  
 標高値を10分の1にする  
 標高値を10倍にする  
 標高注記(E7)を3次元化する  
 レポートパネル出力 ←

OK キャンセル 設定を保存 設定を開く

【異なる Z 値がある(水平でない)面・線】面(E1)と線(E2)について、2点以上の要素で、Z 値が異なる点があれば、その要素をリストアップします。面と線以外の要素はリストアップの対象外になります。例えば、分類コードが 7101-7108 以外の等高線の場合、3次元の建物など、同じ Z 値になっていないケースを抽出できます。

【リストアップ(高い方から)】Z 値が高い方(Z 値が大きい)方からリストアップします。道路など Z 値が異なる要素の場合、最も高い点の Z 値を参照します。2次元の要素は Z=-999.0 として後の方になります。チェックリすとには Z 値を表示します。例えば、分類コードが 7101-7108 以外の等高線をリストアップして、Z 値が誤っていないかを調べることができます。